

「あいち はぐみんプラン2020-2024」（目標）の進捗状況について

資料2

評価の目安

◎ … 計画期間において等分に進捗すると仮定した場合と比較し、上回っている又は同水準のもの	17	(49%)
○ … 上記の水準には至っていないが、計画の目標水準に向かって推移しているもの	12	(34%)
△ … 計画策定時と同水準で推移しているもの	1	(3%)
× … 目標水準に向かって推移していないもの	4	(11%)
— … データがないなどの理由により評価できないもの	1	(3%)

全体の評価(計画策定後3年目)
 「◎」の17項目、「○」の12項目を合わせると、35項目の83%を占めており、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい状況下であったが、おおむね順調に推移していると考えます。

参考(計画策定後2年目)
 「◎」15項目、「○」12項目、「△」2項目、「×」5項目、「—」1項目

基本施策	項目	はぐみんプラン策定時		目標			
		年度	数値	年度	数値		
1	キャリア教育の推進	①	キャリア教育の視点で体験活動を実施している小学校の割合	2018	74%	2024	100%
2	就労支援	②	ヤング・ジョブ・あいち利用者の就職者数	2018	6,680人	2024	6,748人
3	思春期保健対策の充実	③	学校等と連携して思春期教育を実施している市町村の数	2018	40市町村	2024	全市町村
4	結婚支援	④	出会いの場を提供するイベント実施数	2018	1,133回	2024	1,500回
5	安心・安全な妊娠・出産の確保と不妊治療への支援	⑤	新生児集中治療管理室（NICU）の整備数	2019	189床	2024	増加
6	働き方改革とワーク・ライフ・バランスの推進	⑥	ファミリー・フレンドリー企業の登録数	2019	1,371件	2024	増加
		⑦	年次有給休暇の取得率	2018	52%	2024	57%
		⑧	男性の育児休業の取得率	2018	4.6%	2024	7.6%
7	男女共同参画の推進	⑨	6歳未満の子どもを持つ夫の育児・家事関連時間	2016	83分	2020	100分
		⑩	男性の働き方の見直しを促進する事業を実施している市町村の数	2018	18市町村	2024	全市町村
8	妊娠・出産期からの切れ目ない支援の充実	⑪	子育て世代包括支援センターを設置している市町村の数	2019	42市町	2024	全市町村
9	保育の受け皿拡充と保育人材の確保	⑫	待機児童の解消	2019	258人	2024	解消
		⑬	保育士等の確保数	2019	26,887人	2024	30,000人
10	多様な保育サービス、児童の放課後対策の拡充	⑭	病児保育事業の実施市町村数	2018	45市町村	2024	全市町村
		⑮	放課後児童クラブの待機児童の解消	2019	863人	2024	解消
11	子どもの貧困・ひとり親家庭への支援	⑯	スクールソーシャルワーカーの配置人数（県立高等学校・県立特別支援学校）	2019	7人（高等学校）	2024	増加（高等学校）
				2019	1人（特別支援学校）	2024	拠点校配置（特別支援学校）
		⑰	スクールソーシャルワーカーを配置している市町村の数（公立小・中学校）	2019	24市町	2024	全市町村
		⑱	生活困窮世帯・ひとり親家庭の子ども学習支援事業の実施市町村数	2018	40市町	2024	全市町村
12	子どもの健康の確保	⑲	小児集中治療室（PICU）の整備数	2019	22床	2024	26床
13	学校教育の充実	⑳	幼稚園・保育所・認定こども園との接続に関する研究・研修を行っている市町村の数	2018	26市町村	2024	全市町村
		㉑	スクールカウンセラーの配置人数（県立高等学校・県立特別支援学校）	2019	56人（高等学校）	2024	増加（高等学校）
				2019	1人（特別支援学校）	2024	拠点校配置（特別支援学校）
14	青少年の育成	㉒	子ども・若者支援地域協議会を利用できる県内の子ども・若者の割合	2019	65.8%	2022	70%
15	児童虐待防止対策の推進	㉓	養育支援訪問事業を実施している市町村の数	2018	46市町村	2024	全市町村
		㉔	市町村子ども家庭総合支援拠点を設置している市町村の数	2019	7市	2024	全市町村
16	社会的養育の体制整備	㉕	施設等入所児童に占める里親等委託の割合	2018	15.9%	2024	20%
17	障害のある子どもへの支援	㉖	個別的教育支援計画の作成率	2018	小学校特別支援学級 99.7% 小学校通常の学級 67.6% 中学校特別支援学級 99.1% 中学校通常の学級 68.7%	2024	100%
		㉗	児童発達支援センターの設置市町村数	2018	19市町村(17市町及び1圏域)	2024	全市町村
18	外国人の子どもへの支援	㉘	外国人の子どもプレスクール実施箇所数	2019	16箇所	2024	増加
		㉙	多文化子育てサロン設置箇所数	2019	6箇所	2022	15箇所
19	子育てしやすい居住環境の整備	㉚	乳幼児の事故予防対策をしている家庭の割合	2018	74.5%	2024	増加
20	安心できるまちづくりの推進	㉛	キッズ・ゾーンを設定する市町村の数	2019	0市町村	2024	全市町村
21	地域の多様な主体との協働推進	㉜	子ども食堂の箇所数	2019	140箇所	2022	200箇所
		㉝	家庭訪問型子育て支援（ホームスタート）を実施する団体数	2019	1団体	2024	11団体
22	県民・企業が一体となって応援する機運の醸成	㉞	子育て家庭優待事業登録店舗数	2019	9,739店舗	2024	10,000店舗
23	経済的支援の充実	㉟	理想の子ども数を持ってない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」を挙げる人の割合	2018	51.3%	2024	47.7%

2022年度までの進捗		
数値	評価	時点
68.4%	×	2022年3月31日
5,383人	×	2023年3月31日
35市町村	×	2022年3月
346回	×	2023年3月31日
190床	◎	2023年3月31日
1,636件	◎	2023年3月
69.1%	◎	2022年7月31日調査 (2023年2月24日公表)
10.8%	◎	2022年7月31日調査 (2023年2月24日公表)
114分	◎	2021年10月調査 (2022年8月31日公表)
19市町	○	2023年3月31日
54市町村	◎	2022年3月31日
52人	◎	2023年4月1日
29,255人	◎	2022年4月1日
50市町村	○	2023年3月31日
465人	○	2022年5月1日
10人	◎	2023年3月31日
2人	◎	2023年3月31日
39市町村	○	2023年3月31日
44市町	○	2023年3月31日
22床	△	2022年12月1日
34市町村	○	2022年3月31日
61人	◎	2023年3月31日
5人	◎	2023年3月31日
73.4%	◎	2023年3月31日
49市町村	○	2022年3月
54市町村	◎	2023年3月31日
21.6%	◎	2023年3月31日
小特別支援学級 100.0% 小通常の学級 78.2% 中特別支援学級 99.9% 中通常の学級 83.7%	○	2022年5月1日
31市町村(29市町及び2圏域)	○	2023年3月31日
20箇所	◎	2023年3月31日
20箇所	◎	2023年3月31日
77.2%	◎	2022年3月
6市	○	2023年4月1日
404箇所	◎	2023年5月1日
8団体	○	2023年3月31日
9,785店舗	○	2023年3月31日
-	-	(2023年調査実施予定)

「あいち はぐみんプラン2020-2024」(目標)の進捗状況について

基本施策	目標 現況(計画策定時) ⇒ 目標		令和4年度の進捗状況		
	数値	評価	評価の理由 / 取組状況 / 今後の推進方策		
1 キャリア教育の推進	① キャリア教育の視点で体験活動を実施している小学校の割合 74.0% (2018年度) → 100% (2024年度)	68.4%	×	【評価の理由】 コロナ禍のため実施校の割合が減ったため。 【取組状況】 学校教育担当指導主事会等の会議で、キャリア教育の意義や体験活動の実施率を周知している。 【今後の推進方策】 キャリア教育の意義や成果を各市町村教育委員会に再確認すると共に、実施率について、毎年、調査していることから、調査結果を各市町村教育委員会に伝え、未実施の学校に対して、体験活動の実施を検討するよう、働きかけていく。まずはコロナ禍前の状態に戻す。	
2 就労支援	② ヤング・ジョブ・あいち利用者の就職者数 6,680人 (2018年度) → 6,748人 (2024年度)	5,383人	×	【評価の理由】 雇用回復傾向、求人検索のオンライン化などにより来所者数が減少しており、ヤング・ジョブ・あいち経由の就職者数も減少している。 【取組状況】 目標達成に向けて、関係機関と連携しながら就職支援に取り組んだ。 【今後の推進方策】 企業活動は回復傾向にあり、求人数の増加が見込まれることから、若年者の就職支援を継続的に行っていく。	
3 思春期保健対策の充実	③ 学校等と連携して思春期教育を実施している市町村の数 40市町村 (2018年度) → 全市町村 (2024年度)	35市町村	×	【評価の理由】 目標水準に向かって推移していないため。 【取組状況】 各地域の保健所を中心に、市町村や教育現場等と連携して思春期教育を実施している。 【今後の推進方策】 各地域での思春期教育の推進のため、引き続き市町村や教育現場等の連携に努める。	
4 結婚支援	④ 出会いの場を提供するイベント実施数 1,133回 (2018年度) → 1,500回 (2024年度)	346回	×	【評価の理由】 イベント実施数が昨年度と比較し増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響で中止が相次ぎ、計画策定時と比較し大幅に減少したため。 【取組状況】 イベント実施団体等を「プラチナ出会い応援団」、「出会い応援団」として登録。ホームページで婚活イベント情報を掲載。 【今後の推進方策】 「出会い応援団」が実施する婚活イベントに対する補助を行うことや、企業や地域団体等に結婚支援の取組の提案等を行う「結婚コンシェルジュ事業」を行うことなどにより、結婚支援に積極的な団体との連携を一層図る。	
12 子どもの健康の確保	⑲ 小児集中治療室(PICU)の整備数 22床 (2019年度) → 26床 (2024年度)	22床	△	【評価の理由】 病床数が計画策定時と同水準だったため。 【取組状況】 愛知県地域保健医療計画にて増床を計画している。 【今後の推進方策】 地域性を考慮の上、PICUの整備を進める。	